

株式会社 構造ソフト

今月のイチオシ

2024年5月号

拡張情報

「BUILD.一貫VI」 (Ver.1.22) …P1

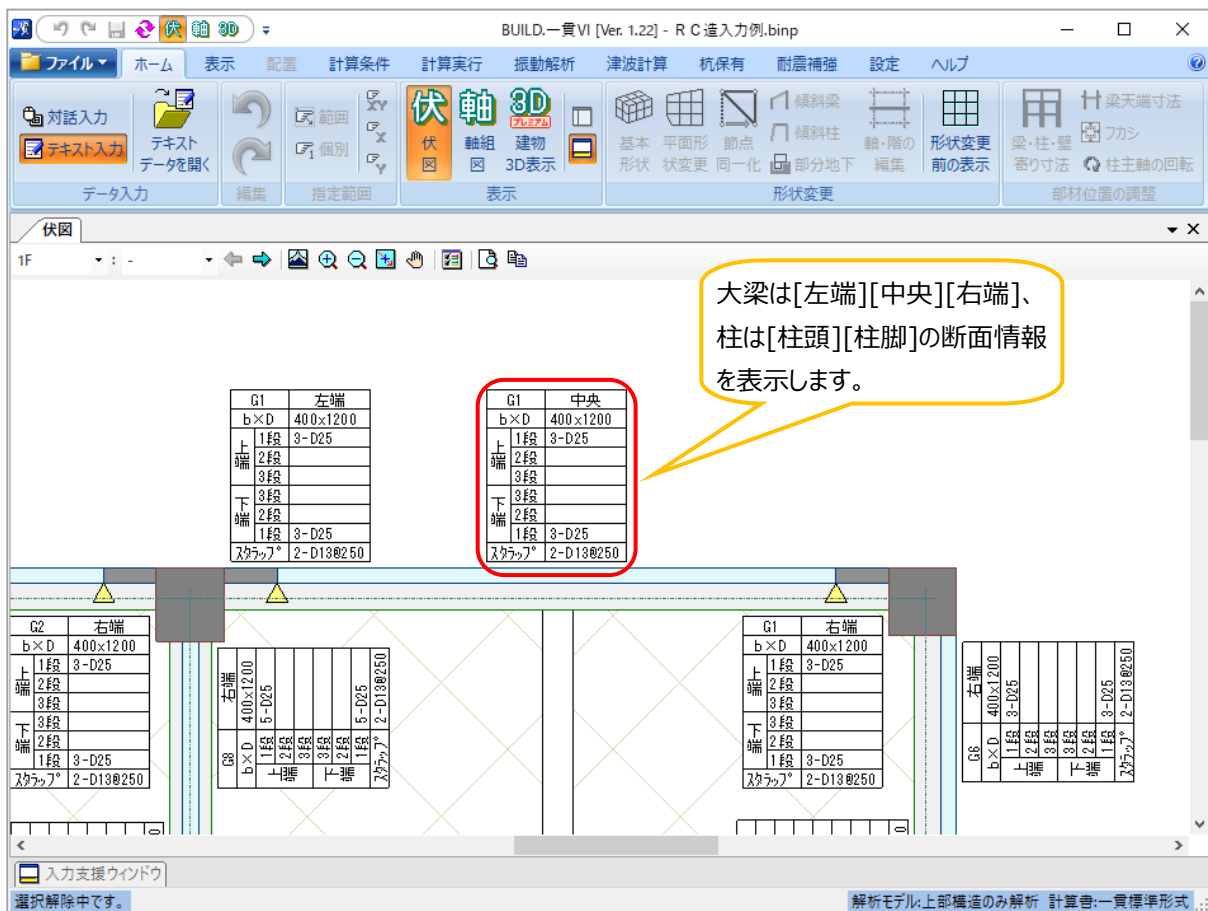
Q&A (適判等からの指摘事例)

「BUILD.一貫VI」 Q&A …P6

◆「BUILD.一貫VI」 (Ver1.22)

・伏図および軸組図で大梁と柱の断面情報表示に対応

2024年4月にリリースした「BUILD.一貫VI」 (Ver.1.22) より、伏図および軸組図において、大梁と柱の断面情報を表示できるようにしました。断面情報は表示設定画面またはリボンメニューから表示/非表示を設定することができます。

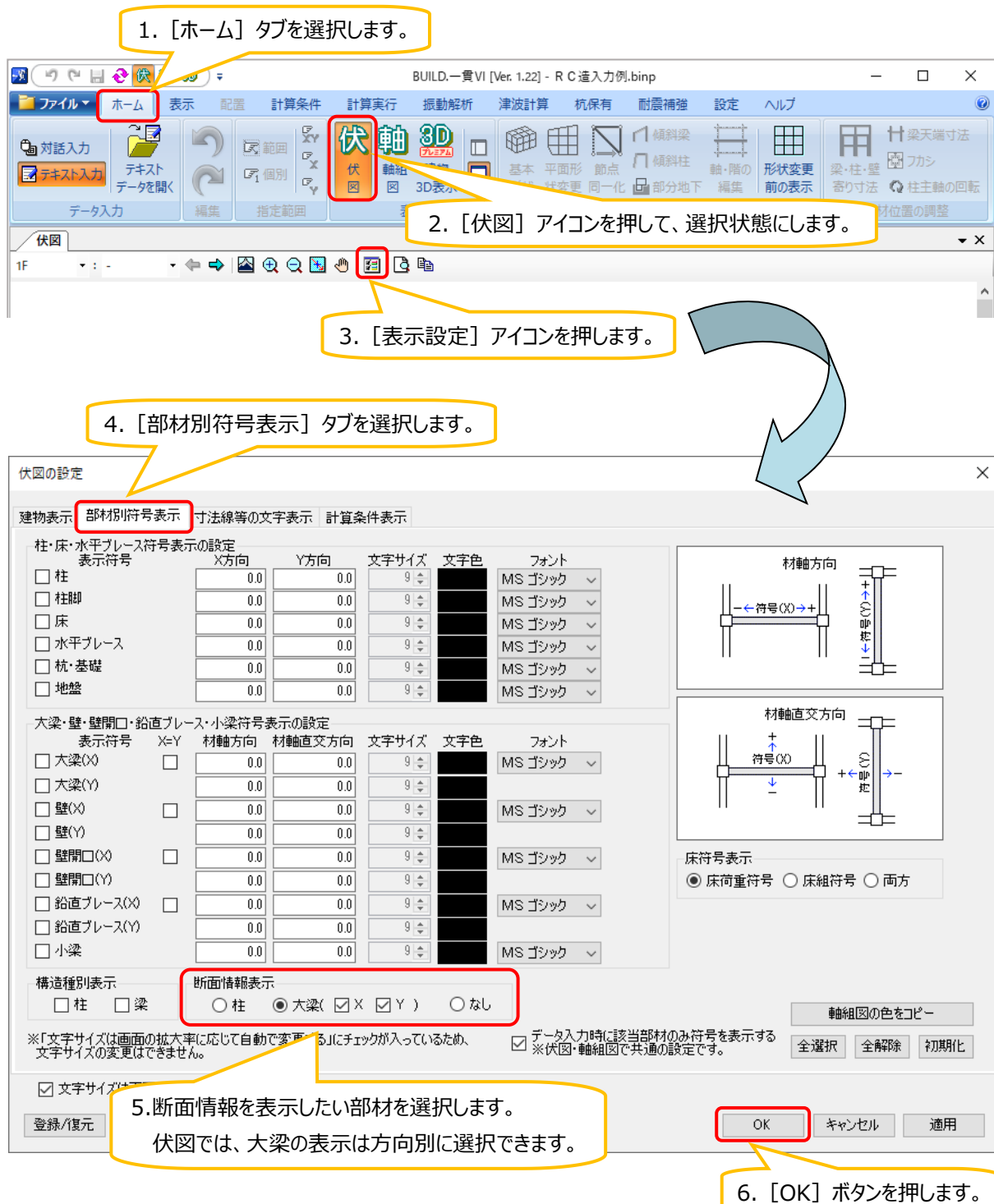


・断面情報を表示させる方法

断面情報は、表示設定画面またはリボンメニューで表示/非表示を設定できます。以下では、伏図で断面情報を表示させる方法を示します。軸組図も同様にして表示/非表示を設定します。

A) 表示設定画面で設定する場合

1. [ホーム] タブを選択します。
2. [伏図] アイコンを押して、選択状態にします。
3. [表示設定] アイコンを押します。
4. [部材別符号表示] タブを選択します。
5. 断面情報を表示したい部材を選択します。
伏図では、大梁の表示は方向別に選択できます。
6. [OK] ボタンを押します。



The screenshot shows the software interface with several callouts and annotations:

- Callout 1:** Points to the 'ホーム' (Home) tab in the ribbon menu.
- Callout 2:** Points to the '伏図' (Floor Plan) icon in the ribbon menu.
- Callout 3:** Points to the '表示設定' (Display Settings) icon in the ribbon menu.
- Callout 4:** Points to the '部材別符号表示' (Member-specific Symbol Display) tab in the '伏図の設定' (Floor Plan Settings) dialog box.
- Callout 5:** Points to the '断面情報表示' (Section Information Display) section in the dialog box, where '大梁' (Main Beam) is selected with checkboxes for 'X' and 'Y' directions.
- Callout 6:** Points to the 'OK' button at the bottom of the dialog box.

The '断面情報表示' section in the dialog box includes the following options:

部材	表示	X方向	Y方向	文字サイズ	文字色	フォント
柱	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	9	黒	MS ゴシック
柱脚	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	9	黒	MS ゴシック
床	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	9	黒	MS ゴシック
水平ブレース	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	9	黒	MS ゴシック
杭・基礎	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	9	黒	MS ゴシック
地盤	<input type="checkbox"/>	0.0	0.0	9	黒	MS ゴシック

The '断面情報表示' section also includes radio buttons for '柱', '大梁 (X)', '大梁 (Y)', and 'なし', with '大梁 (X)' and '大梁 (Y)' selected.

B) リボンメニューで設定する場合

1. [表示] タブを選択します。

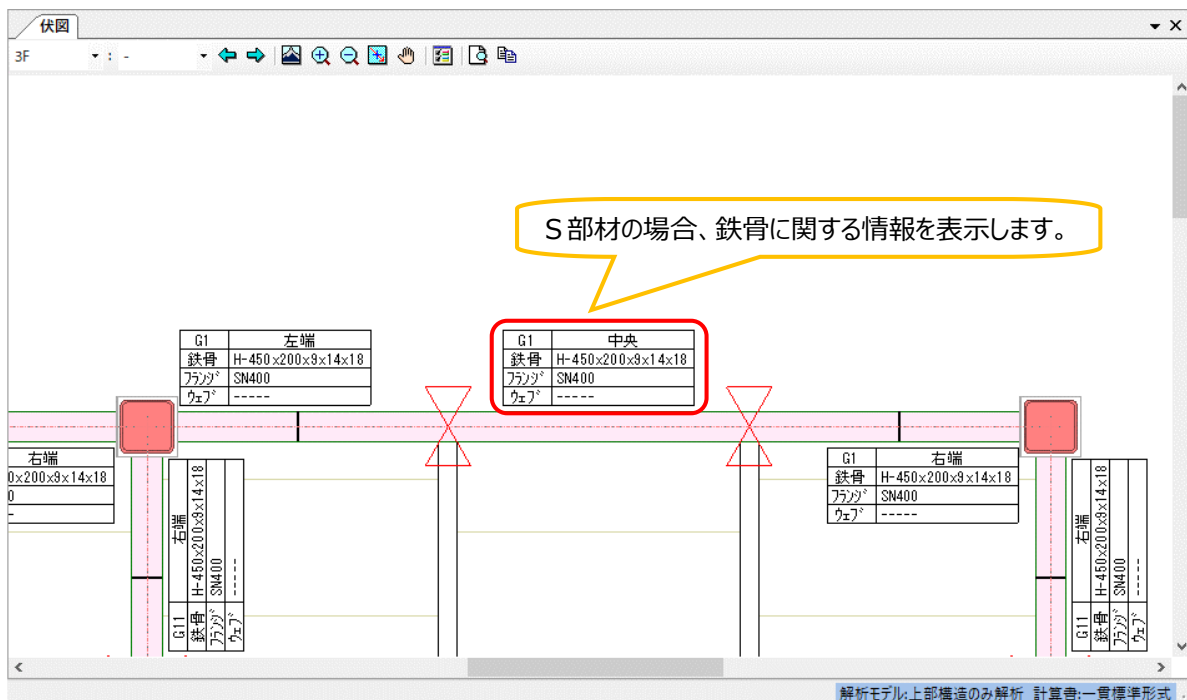


2. 断面情報を表示したい部材を選択します。
伏図では、大梁の表示は方向別に選択できます。

・構造種別に応じた情報を表示

断面情報は、部材の構造種別に応じた情報を表示します。

A) S部材の場合



S部材の場合、鉄骨に関する情報を表示します。

B) R C部材の場合

伏図

1F

R C部材の場合、コンクリートと鉄筋に関する情報を表示します。

G1		左端
b×D		400×1200
上端	1段	3-D25
	2段	
	3段	
下端	3段	
	2段	
	1段	3-D25
スラブ厚		2-D13@250

G1		中央
b×D		400×1200
上端	1段	3-D25
	2段	
	3段	
下端	3段	
	2段	
	1段	3-D25
スラブ厚		2-D13@250

G2		右端
b×D		400×1200
上端	1段	3-D25
	2段	
	3段	
下端	3段	
	2段	
	1段	3-D25
スラブ厚		2-D13@250

G8		右端
b×D		400×1200
上端	1段	5-D25
	2段	
	3段	
下端	3段	
	2段	
	1段	5-D25
スラブ厚		2-D13@250

G1		右端
b×D		400×1200
上端	1段	3-D25
	2段	
	3段	
下端	3段	
	2段	
	1段	3-D25
スラブ厚		2-D13@250

G8		右端
b×D		400×1200
上端	1段	3-D25
	2段	
	3段	
下端	3段	
	2段	
	1段	3-D25
スラブ厚		2-D13@250

部材を選択してください。

解析モデル: 上部構造のみ解析 計算書: 一貫標準形式

C) S R C部材の場合

伏図

RF

S R C部材の場合、コンクリートと鉄筋、鉄骨に関する情報を表示します。

G1		左端
b×D		500×750
上端	1段	2-D25
	2段	
下端	2段	
	1段	2-D25
スラブ厚		2-D13@250
鉄骨		BH-450×200×3×16
フラッシュ		SM490
ウェブ		SM490

G1		中央
b×D		500×750
上端	1段	2-D25
	2段	
下端	2段	
	1段	2-D25
スラブ厚		2-D13@250
鉄骨		BH-450×200×3×16
フラッシュ		SM490
ウェブ		SM490

G2		右端
b×D		500×750
上端	1段	2-D25
	2段	
下端	2段	
	1段	2-D25
スラブ厚		2-D13@250
鉄骨		BH-450×200×3×16
フラッシュ		SM490
ウェブ		SM490

G8		右端
b×D		450×750
上端	1段	2-D25
	2段	
下端	2段	
	1段	2-D25
スラブ厚		2-D13@250
鉄骨		BH-450×150×8×16
フラッシュ		SM490
ウェブ		SM490

G1		右端
b×D		500×750
上端	1段	2-D25
	2段	
下端	2段	
	1段	2-D25
スラブ厚		2-D13@250
鉄骨		BH-450×200×3×16
フラッシュ		SM490
ウェブ		SM490

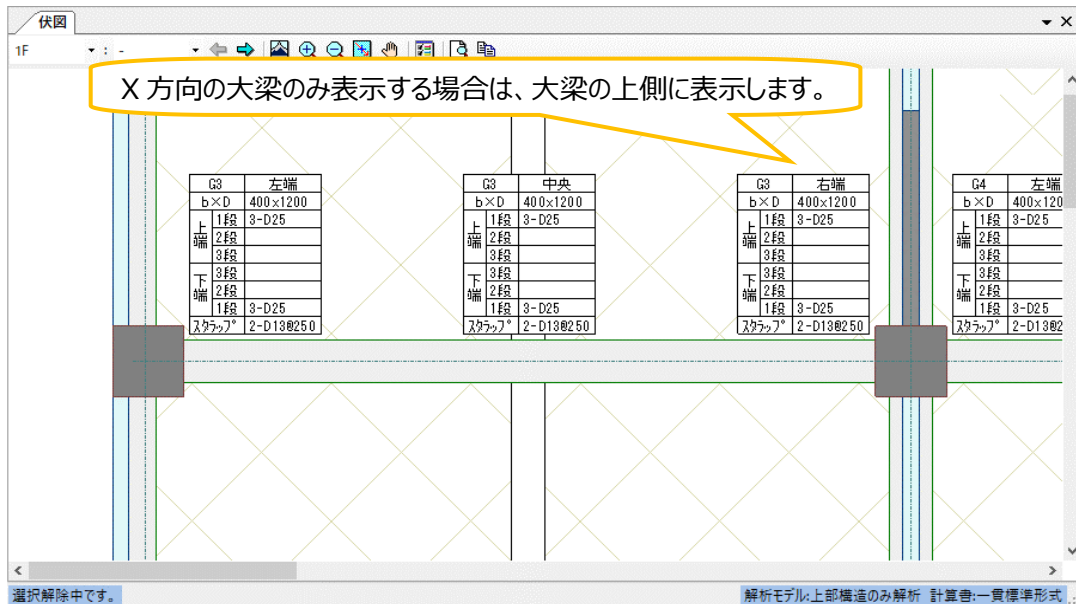
G8		右端
b×D		450×750
上端	1段	2-D25
	2段	
下端	2段	
	1段	2-D25
スラブ厚		2-D13@250
鉄骨		BH-450×150×8×16
フラッシュ		SM490
ウェブ		SM490

選択解除中です。

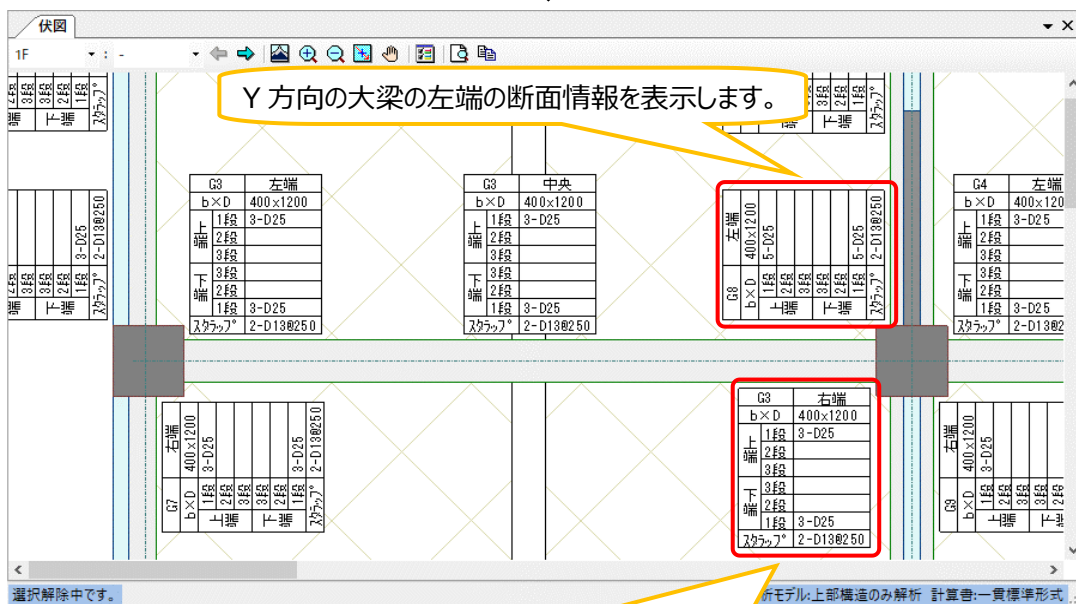
解析モデル: 上部構造のみ解析 計算書: 一貫標準形式

・伏図における大梁の断面表示

伏図において、大梁の断面情報を両方向とも表示する場合、図の重なりを防ぐために大梁の右端の断面情報について、表示位置を変えています。



両方向とも表示に変更



X方向の大梁の右端の断面情報は下側に表示します。

・断面情報を自動で一時的に非表示

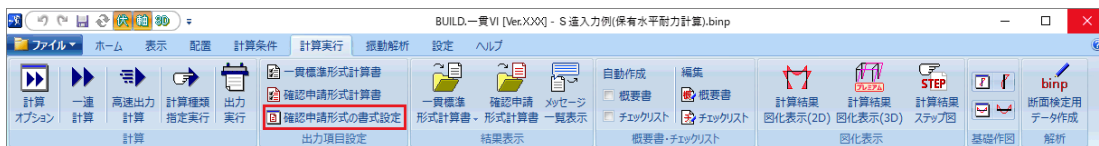
断面情報を表示する設定の場合でも動作が重くならないよう、スクロール中などは断面情報が一時的に非表示になります。操作を終えた後、表示されるようになります。

◆「BUILD.一貫VI」Q&A (適判等からの指摘事例)

タイトル：電子申請のため計算書のPDFにセキュリティ(プロテクト)を施さないように要求された

Q. 確認検査機関から電子申請の条件として、計算書のPDFにセキュリティ(プロテクト)を施さないように要求されました。どのように対応すればよいでしょうか？

A. デフォルト(初期設定)では、セキュリティ(プロテクト)を施していますが、電子申請を想定して設計者の責任のもと、セキュリティ(プロテクト)を外す機能を設けています。リボンメニューの「計算実行」タブから「確認申請形式の書式設定」を選択します。



「確認申請形式の書式設定」画面が表示されたら、画面左の設定項目のツリーで「利用者証明書・セキュリティ等」を選択し、セキュリティで「保護する」のチェックを外してください。



セキュリティで「保護する」のチェックを外した場合は、確認申請形式計算書(PDFファイル)に対する書き込みが可能となるため、電子申請も可能となります。この場合、セキュリティの状況が印刷した紙の計算書でも分かるようにするために、セキュリティで「保護する」のチェックを外した場合は、計算書のフッターのID番号の色がグレーで出力されます。

また、紙の計算書を併用する場合、確認検査機関に提出する計算書と適合性判定機関に提出する計算書でフッターの出力状況が異なると、整合性に問題があるとして受理されない場合がありますので、必ず同じセキュリティの状況として提出してください。

なお、Ver.1.18まではセキュリティで「保護する」のチェックを外した場合、計算書のフッターにID番号を出力していませんでしたが、Ver.1.19以降ではID番号を出力し、色をグレーとするように処理を変更しています。

※ [弊社ホームページのQ&A](#)では、この他にも、適判等からの指摘事例のQ&Aを約330件、通常のQ&Aを3880件以上掲載していますので、ご活用ください。なお、Q&Aの閲覧は、[トータルメンテナンス](#)を契約中のお客様限定となります。